

## 《令和2年度 研究会活動紹介》

研究会名	代表者氏名
室町期における諸宗兼学仏教の研究	大橋 雄人
研究会名 略称： 十勝研	所 属： 大正大学 非常勤講師
活動紹介	
<p><b>【活動内容】</b>            当研究会は、日本室町期の仏教研究について、特に当時新たに興隆した諸宗兼学・融合思想を提唱した旭蓮社澄円（1290—1372）の思想について、主著『浄土十勝節箋論』（以下『十勝論』）、①書き下しの作成、②出典注を施す、という作業を通じて澄円の思想を明らかにしていく。この作業は毎年『総合佛教研究所年報』に掲載して発表していく予定である。</p> <p>最終的な目標としては、作成した『浄土十勝論』の影印・書き下し文・出典注をまとめた本文篇と、参加研究員の個人研究をまとめた研究篇の出版を考えている。</p>	
<p><b>【活動実績】</b>※出版/論文/受賞・研究助成の経歴など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『綜佛年報』に翻刻・書き下しの成果を掲載（平成22年度～30年度）</li> <li>・大橋雄人「澄円『浄土十勝論』序文・跋文の執筆者について」（『仏教文化学会紀要』23）</li> <li>・大橋雄人「澄円『浄土十勝論』における引用文献について」（『仏教文化学会紀要』24）</li> <li>・大橋雄人「澄円『浄土十勝論』の成立過程について」（『仏教文化学会紀要』25）</li> </ul>	
<p><b>【令和2年度活動計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き書き下し、出典確認作業を進める。</li> <li>・各自テーマを設定し、個人研究を進める。</li> <li>・並行して出版に向けての編集作業を進める。</li> </ul>	